

事後調査報告書（工事の施行中その2）

中央新幹線 品川・名古屋間

調査項目	大気質、騒音、振動、水質、地下水、地盤沈下、 土壌汚染、動物、植物、廃棄物等、温室効果ガス、 及びその他（環境保全措置の実施状況）
環境影響評価書の提出	平成26年8月26日
事後調査計画書の提出	平成26年11月4日

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名 称	東海旅客鉄道株式会社
代表者の氏名	代表取締役社長 金子 慎
主たる事務所の所在地	愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番4号

2. 対象事業の名称及び種類

名 称	中央新幹線品川・名古屋間 ¹
種 類	新幹線鉄道の建設（環境影響評価法第一種事業）

3. 対象事業の内容の概略

3.1. 中央新幹線品川・名古屋間の内容

中央新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づき、平成23年5月に、国土交通大臣が、東海旅客鉄道株式会社（以下「当社」という。）を営業主体及び建設主体に指名し、整備計画を決定の上、当社に対して建設の指示を行った。これを受けて、当社は環境影響評価の手続きを進め、平成26年8月に、工事実施計画（その1）の認可申請を行い、同年10月に国土交通大臣より認可を受けた。

中央新幹線品川・名古屋間の計画の内容を表3-1-1に示す。また、路線計画を図3-1-1に示す。

¹ 環境影響評価書においては中央新幹線（東京都・名古屋市間）と記載していたものを、工事実施計画の認可申請に合わせて変更したものである。

表 3-1-1 中央新幹線品川・名古屋間の計画の内容

名称及び種類	名称：中央新幹線品川・名古屋間 種類：新幹線鉄道の建設（環境影響評価法第一種事業）
事業実施区域の起終点	起 点：東京都港区 終 点：愛知県名古屋市 主要な経過地：甲府市附近、赤石山脈（南アルプス）中南部
走行方式	超電導磁気浮上方式
最高設計速度	505 キロメートル／時
路線概要	中央新幹線品川・名古屋間の路線は、東京都内の東海道新幹線品川駅付近を起点とし、山梨リニア実験線（全体で42.8km）、甲府市付近、赤石山脈（南アルプス）中南部を経て、名古屋市内の東海道新幹線名古屋駅付近に至る、延長約286km（地上部約40km、トンネル約246km）の区間である。 駅については、品川駅、名古屋駅のほか、神奈川県内、山梨県内、長野県内、岐阜県内に一駅ずつ設置する計画である。
工事実施期間	平成27年度(2015年度)～令和9年度(2027年度)
供用開始年度	令和9年度(2027年度)

